

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

Table with 2 columns: 学校名 (太良町立多良中学校) and 1 前年度 評価結果の概要 (前年度の重点目標は、①「学ぶことの楽しさ」を感じる、魅力ある・わかる授業づくりを推進し、学力の向上を図る。②自己肯定感、自己有用感を育て、自他を大切にし、将来の夢の実現を育む。③道徳を中核とした教育活動全般を通して、規範意識を高め、豊かな人間力を育成する。の3点であった。すべての項目においてA・Bの達成度を得ており、おおむね目標達成ができたとの評価結果であった。)

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

4 重点取組内容・成果指標 (1)共通評価項目

Main evaluation table with columns: 評価項目, 重点取組 (取組内容, 成果指標), 具体的取組, 中間評価 (進捗度, 進捗状況と見通し), 達成度 (評価), 最終評価 (達成度, 実施結果). Rows include: ●学力の向上, ●心の教育, ●健康・体づくり, ●業務改善・教職員の働き方改革の推進.

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

Table with 6 columns: 評価項目, 重点取組内容, 成果指標, 具体的取組, 中間評価, 最終評価. Rows include: ○特別支援教育の充実, ○学校行事への参画, ○適時的確な情報発信.

5 総合評価・次年度への展望
●…果共通 ○…学校独自 ○…進を高める教育
本年度の重点目標は「学ぶことの楽しさ」を感じる、魅力ある・わかる授業づくりを推進し、学力の向上を図る。②自己肯定感、自己有用感を育て、自他を大切にし、将来の夢の実現を育む。③道徳を中核とした教育活動全般を通して、規範意識を高め、豊かな人間力を育成する。の3点であった。
①については、教職員間でマイプランを共有し、わかりやすい授業の実践に向けて取り組んだ。授業の導入時には「はめ」を提示し、終末時には適宜振り返りを行うことで授業を回ると、90%を超える生徒が一人一人にわかりやすく教えてもらっていることと答えている。
②については、コロナ禍の中ではあったが、1年生は多良岳登山や福祉体験、3年生は修学旅行を実施することができ、体験を通しての学習ができた。2年生は、職場体験は実施できなかったが、職業人としてのマナーや町内の生産者について調べ学習を行い、文化発表会で発表した。意識調査では、90%以上が肯定的な回答であり、自己肯定感が高い。今後もキャリアパスポートを活用した進路学習を活用していく必要がある。
③については、担任を中心として学年職員全員で道徳の授業に計画的に取り組んだ。学年の縦組にも授業の様子や生徒の感想を提示し、学年全体で「心の教育」に努めた。意識調査の最終結果、「心の教育に努めている」と肯定的に受け止めている生徒は97.4%、保護者は94.1%であった。今後も学年連帯や学級連帯を通して保護者へ発信しながら、学校全体で「心の教育」に取り組んでいきたい。
次年度に向け、上記の取組と成果を踏まえ、教育活動全般を通して規範意識を高め、豊かな人間力を育成する。